**遺　言　書**

　遺言者甲野太郎は、次のとおり、遺言をする。

１　遺言者の相続人は、妻・甲野花子（昭和○年○月○日生、以下「花子」という。）、長女・甲野松子（昭和○年○月○日生、以下「松子」という。）および長男・甲野一郎（昭和○年○月○日生、以下「一郎」という。）の３名である。

２　遺言者は、次の土地、建物および預貯金を妻・花子に相続させる。

　⑴　土地

　　　所在　　　○○区○○町○丁目

　　　地番　　　○番○

　　　地目　　　宅地

　　　地積　　　○○平方メートル

　⑵　建物

　　　所在　　　○○区○○町○丁目○番地

　　　家屋番号　○番○

　　　種類　　　居宅

　　　構造　　　○○

　　　床面積　　○○平方メートル

　⑶　預貯金

　　　○○銀行○○支店　普通預金

　　　口座番号　○○○○○○

　　　口座名義　遺言者

３　遺言者は、次の預貯金を長女・松子に相続させる。

　　　○○銀行○○支店　普通預金

　　　口座番号　○○○○○○

　　　口座名義　遺言者

４　遺言者は、次の車および預貯金を長男・一郎に相続させる。

　⑴　車

　　　登録番号　○○

　　　種別　　　普通

　　　用途　　　○○

　　　自家用、事業用の別　自家用

　　　車名　　　○○

　　　型式　　　○○

　　　車台番号　○○

　　　原動機の型式　○○

　⑵　預貯金

　　　○○銀行○○支店　普通預金

　　　口座番号　○○○○○○

　　　口座名義　遺言者

５　遺言者は、前項までに記載した以外の相続財産が判明したときは、妻・花子に相続させる。

６　遺言者は、遺言者および祖先の祭祀を主宰すべき者として、長男・一郎を指定する。

７　遺言者は、葬儀を以下の要領で行うよう希望する。

ⅰ⑴　○○寺の住職に読経等を依頼したので、住職と協議して葬儀の要領を決定してほしい。

　⑵　参列者については、遺言者が作成した参列者名簿に記載した者とし、その者に挨拶状等を送付して遺言者の死亡の事実を伝えてほしい。

　⑶　参列者名簿に記載されていない者から参列の希望があった場合、祭祀主宰者において参列の可否を判断してほしい。

令和○年○月○日

　　　　　　東京都○○区○○町○丁目○番○号

　　　　　　遺言者　　甲　野　太　郎　　　　　㊞